

令和7年第2回大野城市議会3月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和7年3月17日（月） 午前9時30分 （於 議 場）

議員氏名	件 名
平田 不二香	1. 子どもたちを安心安全な環境で、健やかに育てる大野城市であるために (1) 困難や課題を抱える子どもの居場所について (2) 物価高騰による影響を受ける児童生徒への支援について
森 和也	1. 大野城市公共交通ネットワークの構築とまどか号の今後について (1) 地域公共交通計画及び交通活性化協議会について (2) 地域公共交通ネットワークの構築について (3) デマンド型まどか号について
中村 真一	1. 道路の整備について (1) 道路面の整備について (2) 道路面下の整備について 2. 下水道管について (1) 下水道管について
岡部 かおり	1. 安全安心な歩行者空間について (1) 歩車分離式信号に関する指針が23年ぶりに改定された。歩車分離式信号の設置基準について伺う (2) 歩車分離式信号の整備による効果について伺う (3) 第二次大野城市都市計画マスタープラン策定後、歩車分離式信号を設置した箇所はあるか伺う (4) 大町公園でのイベントや、まどかフェスティバル、ふくしフェスティバル、クリスマスマーケットなど市庁舎の駐車場を使ったイベントがある時は、人の往来が増加する。県道112号福岡日田線（旧国道三号線）の大野城市役所前交差点の信号を歩車分離式信号にできないか伺う 2. 指定難病の子どもに対する環境づくりについて (1) 指定難病の子どもの保育施設への受け入れ体制を伺う (2) 指定難病の色素性乾皮症の子どもに関する保育所の申請について (3) 本市の障害者総合支援法などによる障がい児福祉サービスには、どのようなものがあるか (4) 本市の日常生活用具給付事業とは、どのようなものか (5) 今後、色素性乾皮症をはじめとした指定難病の子どもたちが成長するにあたり、小・中学校に進学する際の環境や受入体制を整備していくことや、指定難病を含め障がいのある子どもが将来にわたって安心して暮らせるよう、市民の理解を深める必要があると考えるが本市の見解を市長に伺う
中村 慎一郎	1. 中学校における昼食の欠食の現状と対策について (1) 本市における就学援助の認定基準及び申請方法について (2) 中学生の就学援助制度の申請世帯数と承認世帯数について (3) 就学援助を含む小中学校における物価高騰の施策について (4) 本市における中学生の欠食実態調査の有無について (5) 令和6年度第2回大野城市立中学校給食選択制度向上委員会での欠食に関する議論について

	(6) 中学生の昼食の欠食をなくす対策について 2. 給食費無償化実現後の給食のあり方について (1) 中学校給食費の無償化が実現した場合、ミルク給食分、選択制ランチ給食分、弁当実費分があるがどのような実施方針か。また PECOFREE のポイント残についてはどう対処するか (2) 小学校給食費無償化の補助が実現した場合、市負担の予算を選択制ランチ給食又は全員制給食実現に活用する考えはないか (3) ランチ給食数の増加により、現在契約している事業者だけでランチ給食の対応は可能か
松田 美由紀	1. みんなに伝わるみんながわかる情報発信について (1) 令和 5 (2023) 年度に実施された外国籍市民意識調査などの結果に基づいた施策について (2) 第 2 次大野城市国際化推進プラン (中間見直し版) による新規、重点施策について 2. 投票率向上と選挙に関する情報提供の効率・迅速化に向けて (1) 選挙について
永利 恭子	1. 基金と財源について (1) 本市の基金の運用・管理について (2) 財政調整基金について (3) 中学校の給食設備の財源について (4) 庁舎建て替えの財源について 2. インフラ整備と(仮称)防災危機管理センターの新築について (1) 上下水道施設の耐震化率はどうなっているか。工事はいつまでの予定で、総額はいくら見込まれるか (2) 埼玉県八潮市の道路陥没事故のようにインフラの腐食や老朽化は重大事故につながり、地震が起きればさらに危険は高まる。一般会計からの繰出し額を増やし、上下水道の更新を加速するべきではないか (3) (仮称)防災危機管理センターの建設が計画されているが、箱物を建てるのではなく、臨機応変に対応できる体制整備の方が有効ではないか (4) 市庁舎内で職員や来庁者が被災するようなことになれば機能を発揮できない。30 年後に見込まれる市庁舎の建て替えを 10 年でも 5 年でも前倒しすることを検討すべきと思うが、どうか (5) (仮称)防災危機管理センターの新築は、巨額の費用がかかり、本庁舎の建て替えを制約する重大事案にもかかわらず、シビックゾーン整備の一部として進められ、建物の規模や予算について市民には全く知られていない。民意を問うために、少なくとも市長選挙後まで保留すべきではないか 3. 小中学校の給食の無償化について (1) 中学校の給食の無償化は選択制のままでどのように食材費相当分の補助を行うのか。教員や職員の負担が大き過ぎるのではないか (2) ランチ給食等を注文しない生徒の保護者に対し補助を行って、全額が生徒の食費に充てられると思うか (3) ランチを注文し忘れるなどしてお昼ご飯を食べなかった場合にも補助するのか (4) 私立の小中学校、特別支援学校等に通う児童生徒に対する補助はどのような手段で行うのか (5) 不登校の児童生徒に対してはどうするつもりか

○本会議（４日目）一般質問

令和７年３月１８日（火） 午前９時３０分 （於 議 場）

議員氏名	件 名
大塚 みどり	１．小中学校における不登校支援について （１）本市の小中学校における不登校対策について （２）学びの多様化学校の設置・充実に向けての取組について
河野 敏生	１．新小学１年生のランドセルクラブ利用について （１）小学校入学前のランドセルクラブ利用について （２）ランドセルクラブの開所時間について ２．教育に携わる者の人権感覚の涵養について （１）大野城市の小中学校でのいじめの認知件数について （２）教職員の人権感覚涵養のための組織的な取組について （３）令和６年度第２回大野城市立中学校給食選択制度向上委員会での発言について ３．教職員不足問題について （１）２０２４年度の教職員不足問題について （２）講師確保のために （３）２０２５年度の教職員不足問題について
原田 真光	１．公共交通施策について （１）コミュニティバスについて （２）西鉄路線バスについて
松崎 正和	１．「子ども第三の居場所」事業にかかる、大野城市（甲）、社会福祉法人（乙）、公益財団法人 日本財団（丙）による三者協定を締結するに至る経緯及び協定書の疑問点等について （１）日本財団の「子ども第三の居場所」開設に対する、最長３年間の助成事業の概要説明をいただきたい （２）開示された決裁文書や公文書を読み解くと、本事業を所管する部署の意見としては、このような事業を行うには、①公平性の担保が必要なこと、②希望する法人や団体が複数予測されることから公募等による選考を実施すべきこと、③将来に向かって市の財政負担の発生が見込まれること、等により三者協定書の締結には否定的であった。 ところが数日後の決裁文書等を見ると一転、否定的であったはずの文書が協定を締結する方向へと変わった。なぜか。市長自らが何らかの指示を出したのか （３）３年後の財政負担が発生することは明らかな状況であるにも関わらず議会には一切話がない、これは議会軽視と言われても仕方ないようだが市長の考えを問う ２．中学校給食の無償化について （１）いかなる方法で実施するのか
平井 信太郎	１．日本遺産「古代日本の『西の都』」認定取り消しについて （１）日本遺産「古代日本の『西の都』」について概要説明を願う （２）日本遺産「古代日本の『西の都』」は、どのような経緯で認定取り消しになったのか説明を願う （３）今後の日本遺産「古代日本の『西の都』」の対応について ２．学校給食費の無償化について （１）学校給食費無償化後の対応について